Kashiwazaki

柏崎市都市計画
マスタープラン

平成22年3月 ● 柏崎市

はじめに

柏崎市は平成１７年５月に高柳町、西山町と合併し、新しい柏崎市の創造を目指した「第四次総合計画」を平成１９年３月に策定し、市民と行政との協働による輝きに満ちた柏崎の創造をめざしています。しかし、この計画がスタートした直後の同年７月１６日に新潟県中越沖地震が発生し、市内全域が甚大な被害を被る未曾有の災害となりました。おかげさまで、全国各地からの温かい励ましと、国・県・自治体及び関係機関の支援、地域の助け合いにより、大変速いスピードで復旧が進んできました。現在は、新生柏崎市の発展に向けて市民生活を再建し、次の世代を担う子どもたちが誇りと愛着の持てるまちづくりを進めながら、市民と力強い復興の実現に努めております。

今日の柏崎の状況は、百年に一度と言われる大不況が市内の経済活動に深刻な影を落としており、市の財政状況も震災の影響が加わり非常に厳しくなっています。更に、人口減少、少子高齢化、環境問題など、今後のまちづくりにおいてこれまでとは異なる新たな課題にも直面しています。

このような社会の大きな流れを受け止め、本市の今後の都市づくりのあり方を示す「柏崎市都市計画マスタープラン」を改定しました。

この改定では、都市計画をはじめ地域のまちづくりの方向性を示し、将来にわたり持続的に発展していくための集約型都市構造（コンパクトシティ）の実現、ものづくりの産業都市づくり、自然と文化が息づく潤いのまちづくり、災害に強い安全安心のまちづくり、などを掲げています。これに基づき、今後の都市計画の決定や個々の具体的な事業などをもとにまちづくりに取り組んでまいります。

最後に、本マスタープランの改定にあたり、貴重なご意見やご指導をいただいた柏崎市都市計画マスタープラン策定委員をはじめ、多くの市民のみなさまに、心から感謝申し上げます。

平成２２年３月
柏崎市長　会　田　　洋

目　　次

第１章　都市計画マスタープラン改定の目的等	1.都市計画マスタープラン改定の背景と目的	3
	2.都市計画マスタープランの位置づけ	4
	3.目標年次	4
第２章　今後のまちづくりの方向と都市の現状・課題	1.まちづくりの基本理念	7
	2.将来人口の設定	7
	3.都市の現状と課題	8
第３章　全体構想	1.まちづくりの基本方針	17
	2.将来都市構造	18
	3.土地利用構想	23
	4.交通ネットワーク構想	28
	5.公園・緑地整備構想	33
	6.都市環境整備構想	39
第４章　地域別構想	1.中央・比角地域	50
	2.大洲・鯨波地域	56
	3.松波・荒浜地域	59
	4.剣野地域	62
	5.枇杷島・半田地域	65
	6.西中通・北鯖石地域	68
	7.田尻地域	73
	8.高田地域	76
第５章　実現に向けた取り組み	1.制度・事業の活用	81
	2.推進体制の充実	81
	3.進行管理	82
参考資料	1.現況データ	85
	2.策定の経緯	91
	3.用語解説	92